

「ほくら、ほらほら♥ お姉さんの膣内は気持ち良いですか？」

「ああゝゝゝ らめええゝ♥」

人喰い妖狐の新たな犠牲者です

その体で思春期まつただ中の男の子を誘惑し、禁忌の森の奥へ誘い、行為に及んでいる途中でその正体を現わしたのです

逃げようにも、しかし、男の子は妖狐の尾に捕まってしまい逃げられません

「あ、ああ♡」

「あん♡ 僕のおちんぼザーメン…、あつうい♡」



「ほらあ♡ もつとお姉さんの中にちようだあい♡」
「ああくん♡ らめえ♡ いいま、れてるからあ♡」

「ひきいいいいい♡ らめええええ♡」

「もおゝ、らめって言いながら僕のおちんぼは正直ですよゝ？」



「もっともっとお姉さんの膣内に僕のおちんぼザーメン出したいゝって、漏らしたいゝって言うてるよゝ♡」

「あひゃあああああああああゝ♡」

「あ、あああああゝ…う！」

「もう、そんな嘔吐きはお姉さんの尻尾で包んで溶かしちゃいます♡」

「溶けて、おちんちんからびゅーびゅー漏らして、反省しなさい♡」

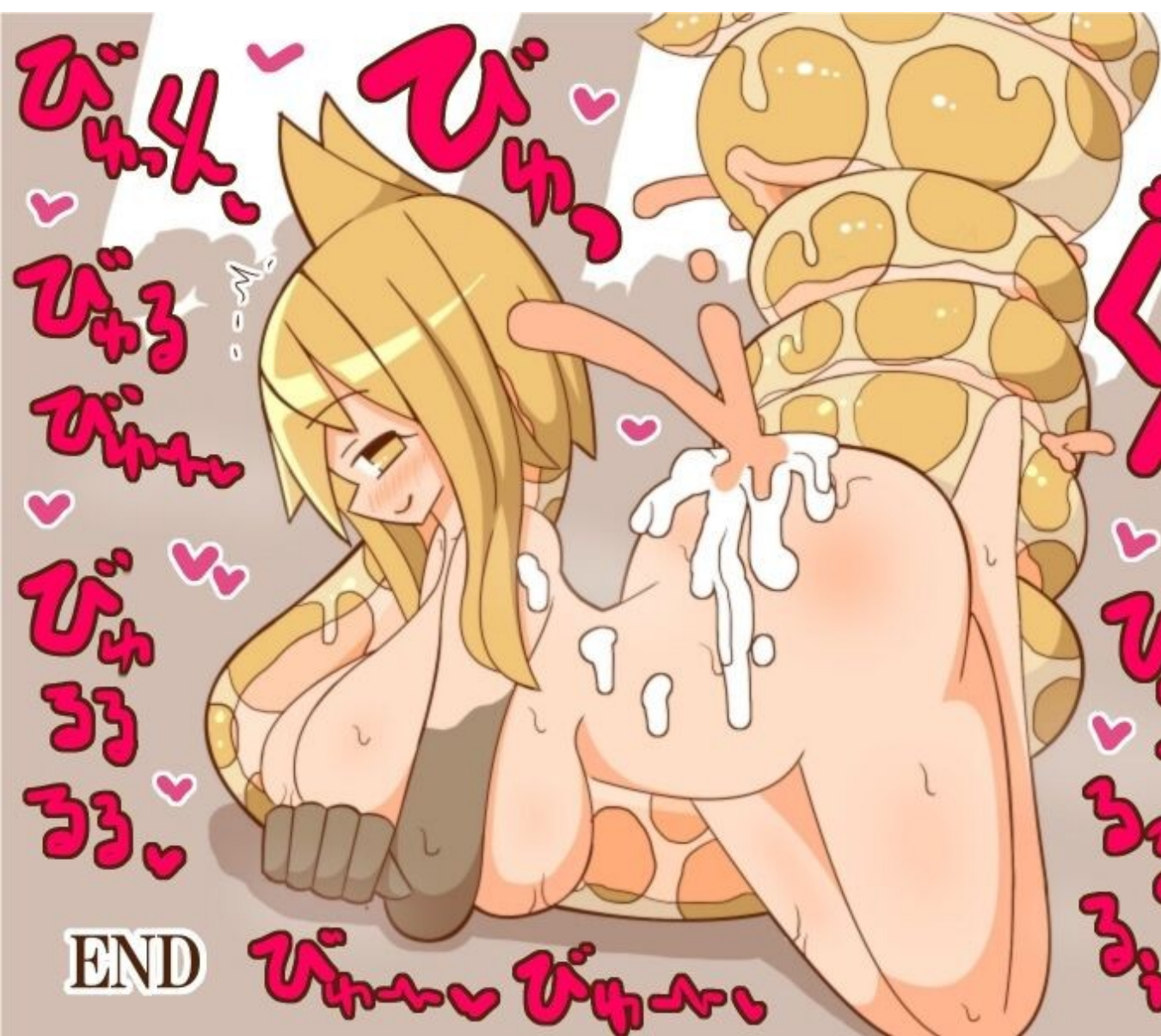
「あああああああああー！
らめええええええええええええええええー♡」





ひゃーん ひゃーん

END



「えへへー♪ 美味しそうな坊やゲットだぜー♥」

「わあああー!!」

大人に駄目だと言われても、男の子の好奇心は抑えられません

禁忌の森に探検しに足を踏み入れた男の子は、
そのまま妖狐に捕まってしまい

二度と帰ってきませんでした

「ほれほれ♡ お姉さんのおっぱいは気持ち良いか？ん？ん？」

「な、なにいい〜!!!」

「混乱しててもやっぱり男の子だな、何もわからなくともおちんちん弄られて硬くしちゃって♡さあ、お姉さんのおっぱいの中に漏らしちゃえ♡」

「あひひいいい〜ん♡」



「あふ♥」

「お、おー♥ 坊やのおちんちんから元気にびゅっびゅお漏らししてるぅ〜
えらいえらいぞ〜♥」

「あひいいい〜♥ お、おちんちん、ばちゅばちゅしちや…、らめえ〜♥」

「それそれ〜♥ もつとも〜とお姉さんのおっぱいで
ザーメンだだ漏れしちまえ〜♥」



「あひい♡ らめえ♡ びくびくしてるう♡ す、すごいお漏らし
びくびくするから、らめえ♡」

「ほれほれ♡ ほれほれ♡」

「ああ…、…？ な、なにに？ な、なんか…、あつい…、あついあつい！」

「そうだぞ、坊やは溶けて来てるんだぞ♡
このまま溶けてお姉さんのご飯になっちゃおうな♡」



